

今こそ変える！ チャレンジ！ 新しい榎原市へ

現在の榎原市は・・・

人口 ↘
3,500人減

子ども ↘
2,500人減

高齢化率 ↗
10%アップ

借金 ↗
40億円増

人口は2009年のピーク時より3,500人減少、子どもは現市長就任時から2,500人減少、高齢化率は10%上昇、借金は市債残は90億円減ったものの、債務負担行為（先送りされた借金）は130億円増加しており、差し引き40億円借金が増えています。

チャレンジ！ かめだ、4つのC (チャレンジ)

チャレンジ1

緩やかな人口増加へ チャレンジ！

- 移住希望者に対し、体験移住や移住相談会などきめ細かいケアを行い、移住を促進します。
- 市街化調整区域への特区制度導入、商業地域の規制緩和で人が集まりやすくします。
- 大学等との連携で電子図書館を整備し、子どもから高齢者まで、どんな本でも読める環境整備をします。
- 市独自の不妊治療助成、出産補助制度を導入し、子どもを産みやすい環境を整備します。
- 県庁移転を積極的に働きかけ、人・もの・お金の流れを榎原市に引き寄せます。

チャレンジ2

子育てしやすい街へ チャレンジ！

- パート主婦（夫）の年収130万円の壁を破るべく、税金軽減・保険料補助制度を作り、子育て世代の世帯年収UPにつなげます。
- 病児預かり保育所、産後ケア施設の設置や給食費補助制度を導入します。
- 子育て相談窓口で専門的知識をもつ者を配置するとともに、窓口を商業施設に拡大し、訪問相談も実施します。
- 保育所やこども園を拡充するとともに、保育や幼児教育に携わる方々の処遇改善をします。

チャレンジ3

健康長寿日本一へ チャレンジ！

- 健康推進員制度を導入し、各公民館、家庭へ巡回して健康相談などを行います。
- 「あるこう榎原ポイント」導入や自治会・老人会などが行う文化・体育教室への助成制度を作り、健康増進を図ります。
- 高齢者による事故を減らすため、市内タクシー会社で使えるチケット配布制度を導入し、免許返納をしやすい状況を作ります。

チャレンジ4

財政健全化、国・県・市民との連携へ チャレンジ！

- 約65億円で計画の中の新庁舎計画について、既存施設活用も視野に見直します。
- 徹底したコスト削減のため市長直轄のプロジェクトチームを作ります。また、自らの退職金を50%カットし、副市長・教育長の退職金2重払いを無くします。
- 国や県と積極的に連携し、2025年までに「飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群」の世界遺産登録、市の榎原運動公園と県の榎原公苑の所有交換で人を呼び込みます。
- 各地域、各団体との対話集会をできる限り細かく実施し、市民みんなで作る市政を目指します。



自由民主党橿原市支部長
前 奈良県議会議員

かめだ^{ただひこ}忠彦

橿原市の皆様、こんにちは。
私は、橿原市を良くしたい！もっと橿原市に住む人が住みやすく、他からも移住したくなる、そんな街を目指してチャレンジすることにしました。

奈良県議会議員時代には、身近なところでは、橿原市内の県道や河川の整備、信号機設置、県全体の問題では援助や配慮を必要とする方が身につけるヘルプマークの導入、全県的なスポーツの振興、とりわけ橿原公苑と橿原運動公園の一体整備実現に力を尽くしてきました。

かめだの4つのチャレンジを裏面に書いています。
是非お読みください。

かめだ^{ただひこ}忠彦後援会

〒634-0804 橿原市内膳町4丁目4-1-1008
TEL 0744-20-3334 FAX 0744-20-3335
www.kameda8010.com

かめだ^{ただひこ}忠彦

1972年
9月26日生まれ 46歳



PROFILE

学歴

平成7年3月 天理大学体育学部体育学科卒業

職歴

平成7年4月～平成10年3月

奈良県内県立高等学校（上牧・大宇陀・吉野）保健体育講師

奈良市立二名中学校保健体育講師

平成10年4月～平成24年11月

衆議院議員 田野瀬良太郎 秘書（平成22年12月～ 公設第一秘書）

現在の役職

自由民主党橿原市支部支部長 橿原市サッカー協会顧問 日本少年野球連盟奈良県支部顧問 など

平成24年12月～平成26年12月

衆議院議員 田野瀬良太郎 公設第一秘書

平成27年4月～令和元年9月

奈良県議会議員（2期）

かめだ忠彦後援会では新しく会員に加わっていただける方やボランティアを募集しています。是非お電話ください。